

江の川(下流)の水害特性

令和元年5月31日(金)

中国地方整備局 浜田河川国道事務所

江の川の概要

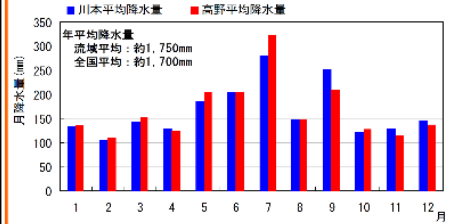
流域及び氾濫原の諸元

流域面積(集水面積) : 3,900km²
 幹川流路延長 : 194km
 流域内人口 : 約21万人
 想定氾濫区域面積 : 約127km²
 想定氾濫区域内人口 : 約5万人
 想定氾濫区域内資産額 : 約8,550億円
 主な関係市町 : 島根県江津市, 広島県三次市
 (※)出典 : 平成12年河川現況調査

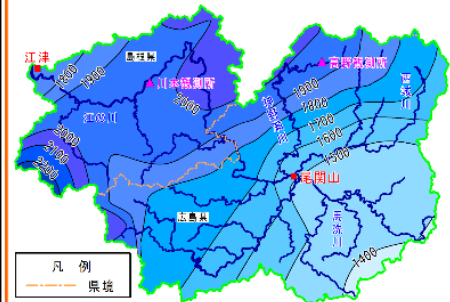
降雨特性

■流域の年平均降水量は約1,750mmであり全国平均並
 ■島根県側は多雨、県境付近は冬期降水量が多い

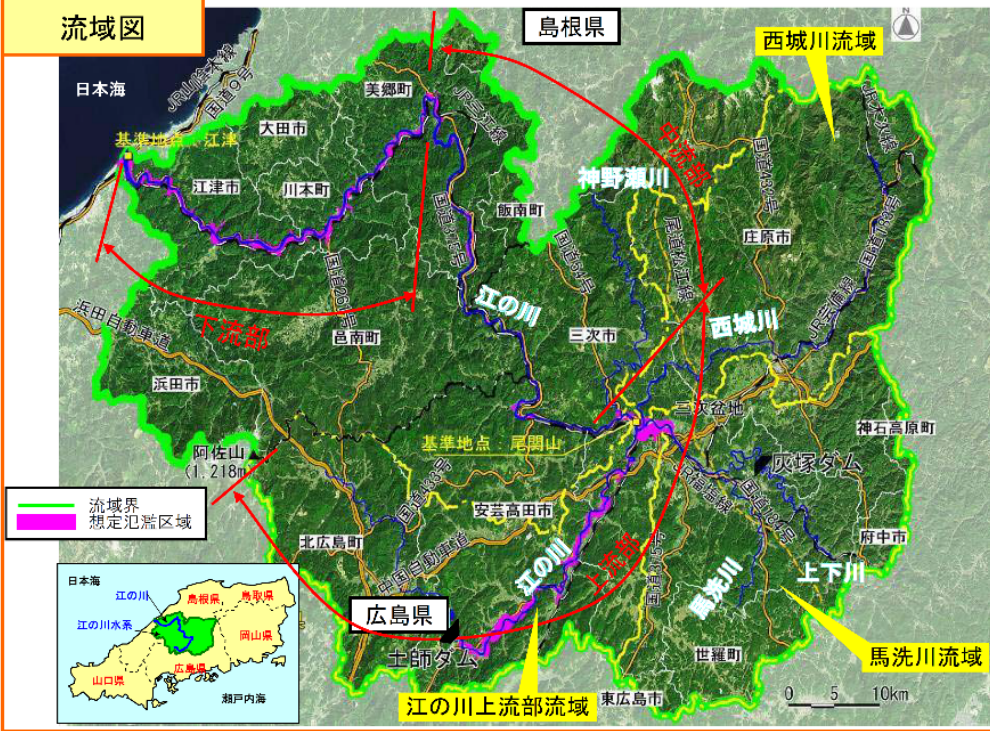
平均月別降水量(1997~2006年の10年間)



年間降雨量分布図(1972~2006年の35年平均値)

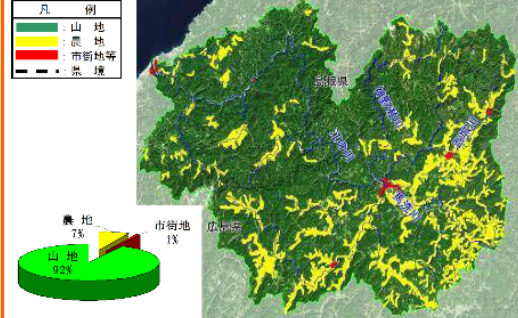


流域図



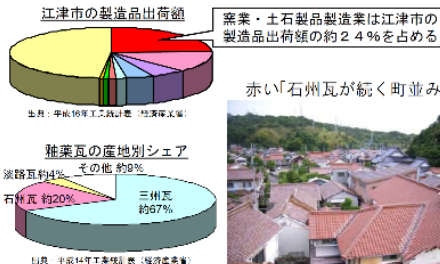
土地利用

■流域の土地利用は約92%が山地、約7%が田畑等で宅地等は1%未満
 ■人口資産は河口部の江津市と上流三次盆地の三次市周辺に集積



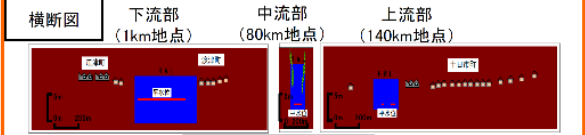
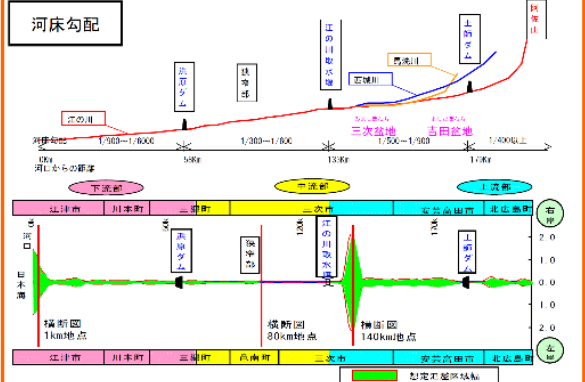
主な産業

■下流江津市は石見臨海工業地帯の中心地で、パルプ・窯業が盛ん
 ■主要な地場産業である石州瓦の出荷量は、三州瓦(愛知県)に次ぎ全国2番目(シェア20%)

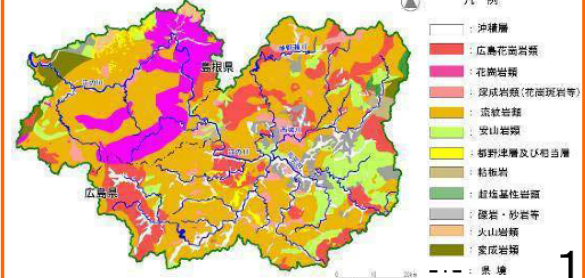


地形特性

■三次盆地で同規模流域を持つ3川が合流
 ■中流部は狭窄部であるため、洪水時に急激に水位が上昇し、高い堤防が必要



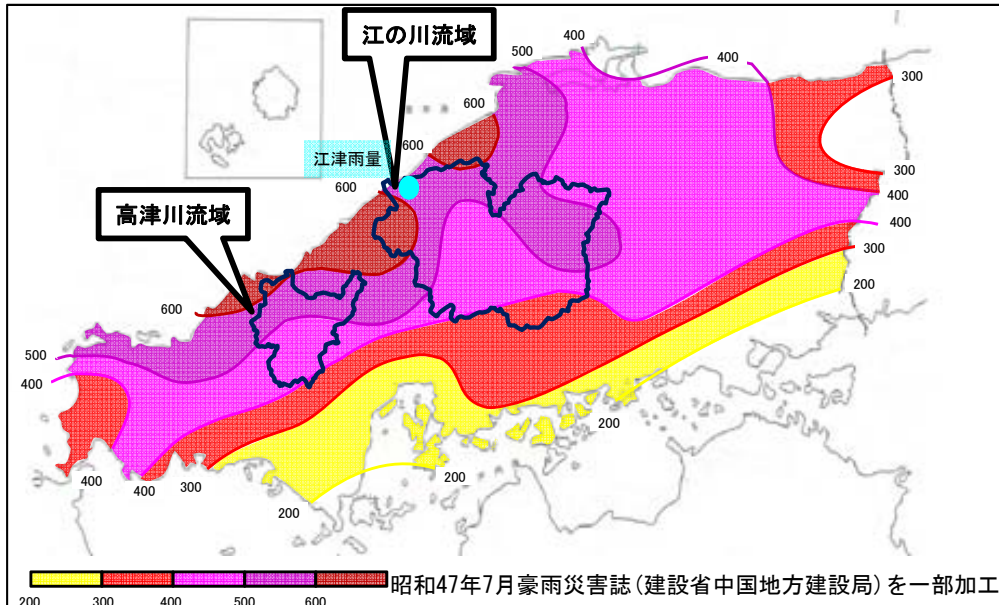
■江の川流域では流紋岩類が広く分布
 ■下流部に石州瓦の原料となる都野津層が分布



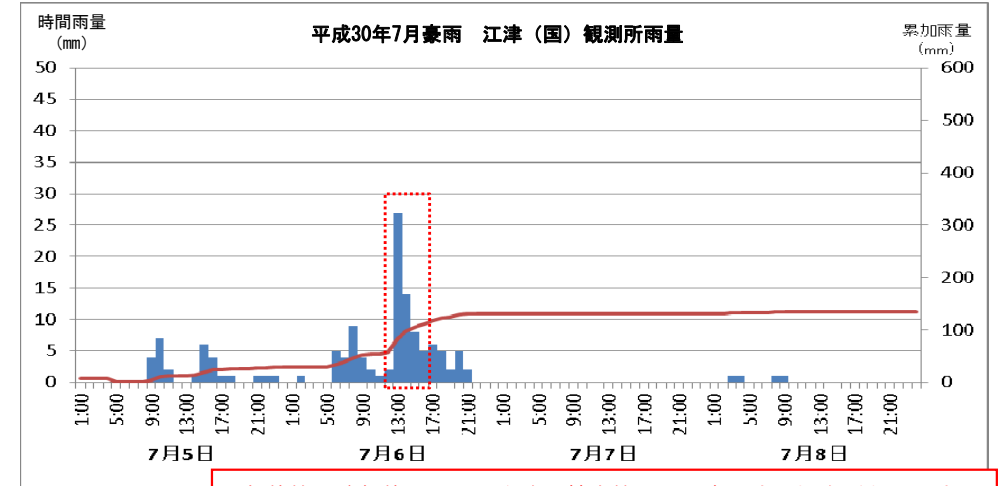
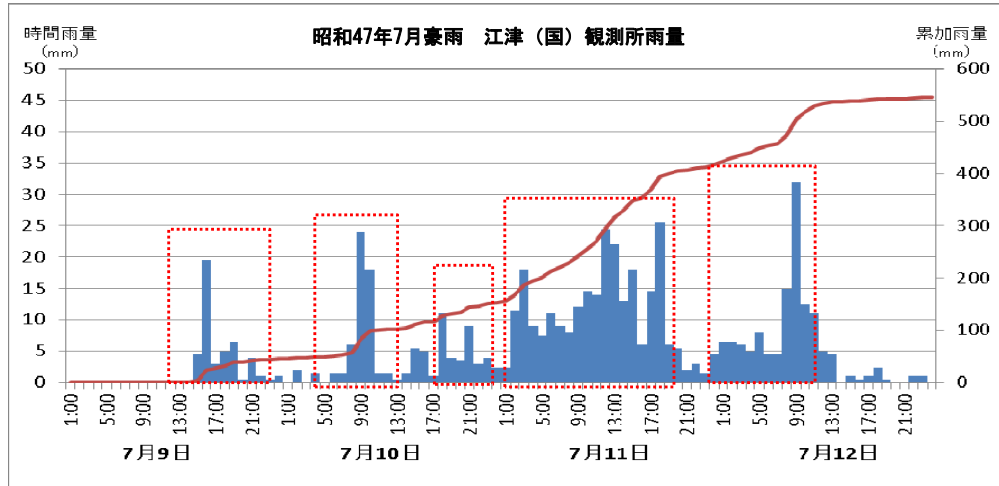
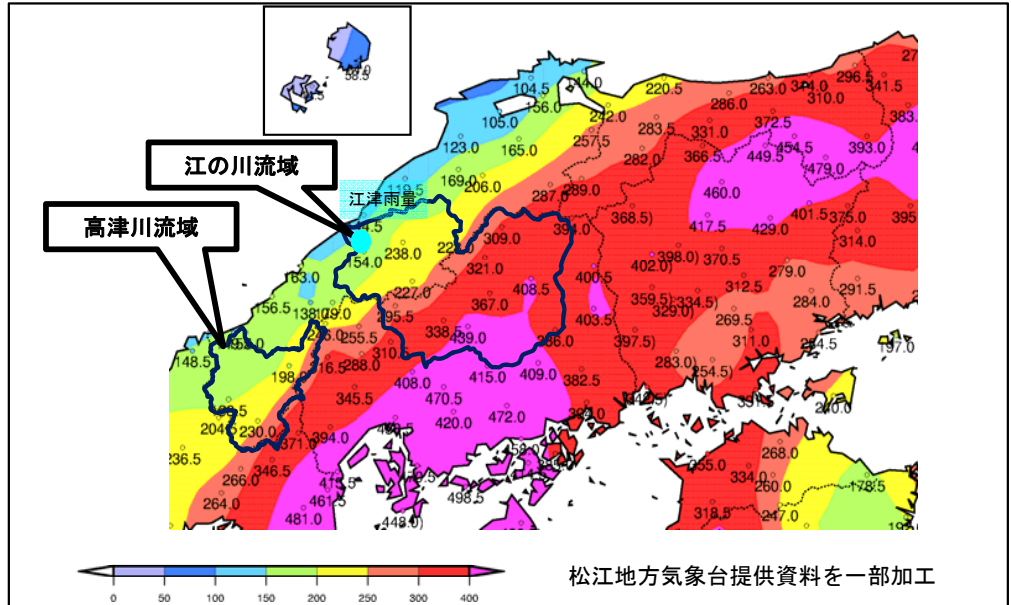
江の川水系における雨量概況【平成30年7月豪雨】

- 梅雨前線が西日本と東日本に停滞し、この前線へ向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となり、西日本から東日本にかけて記録的な大雨が続き、島根県の東部と西部では山沿いを中心に7月5日から7日にかけて大雨となった。
- 主要地点の時間雨量を比較すると、2~3日の間に数回の降雨の山がある。
- 昭和47年7月豪雨は日本海側、平成30年7月豪雨は瀬戸内側で多くの雨が降った。

●【昭和47年7月豪雨】 総雨量分布図（昭和47年7月9日～7月13日）



●アメダス期間降水量(7月5日03時～9日05時)



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

国管理河川の概況【平成30年7月豪雨】

- 今回の出水では**6水系13河川23観測所**で「**氾濫危険水位**」を超過、7水系9河川11観測所で「**避難判断水位**」を超過し、25の市町から避難勧告、避難指示（緊急）が発令されました。
- 江の川水系江の川では**レベル4氾濫危険水位**を超過しました。

■ 河川出水状況（国管理区間）

氾濫危険水位超過 6水系13河川 23観測所	江の川水系 江の川（川本、谷住郷、川平、都賀、犬津、尾関山、薬屋、吉田） 高洗川（南畑敷） 西城川（三次） 吉井川水系 吉井川（津瀬） 金剛川（尺所） 旭川水系 旭川（下牧、三野） 百間川（原尾島橋） 高梁川水系 高梁川（酒津、日羽） 小田川（矢掛） 芦田川水系 芦田川（山手、矢野原） 高屋川（御幸） 太田川水系 榎谷川（新川橋） 三徳川（中深川）
避難判断水位超過 7水系9河川 11観測所	千代川水系 千代川（行徳、用瀬、袋河原） 八束川（片山） 日野川水系 日野川（溝口） 江の川水系 神野瀬川（神野瀬川） 高津川水系 高津川（高角） 吉井川水系 吉井川（御休） 太田川水系 太田川（矢口第一） 古川（古川） 佐波川水系 佐波川（漆尾）
氾濫注意水位超過 7水系7河川 14観測所	天神川水系 天神川（小田、竹田橋） 日野川水系 日野川（車尾） 高津川水系 高津川（神田） 斐伊川水系 斐伊川（木次、新伊堂、瀬分） 旭川水系 旭川（相生橋） 太田川水系 太田川（土居、加計、飯室、紙園大橋） 小瀬川水系 小瀬川（小川津、高国橋）

■ 水防活動実施状況（国管理区間）

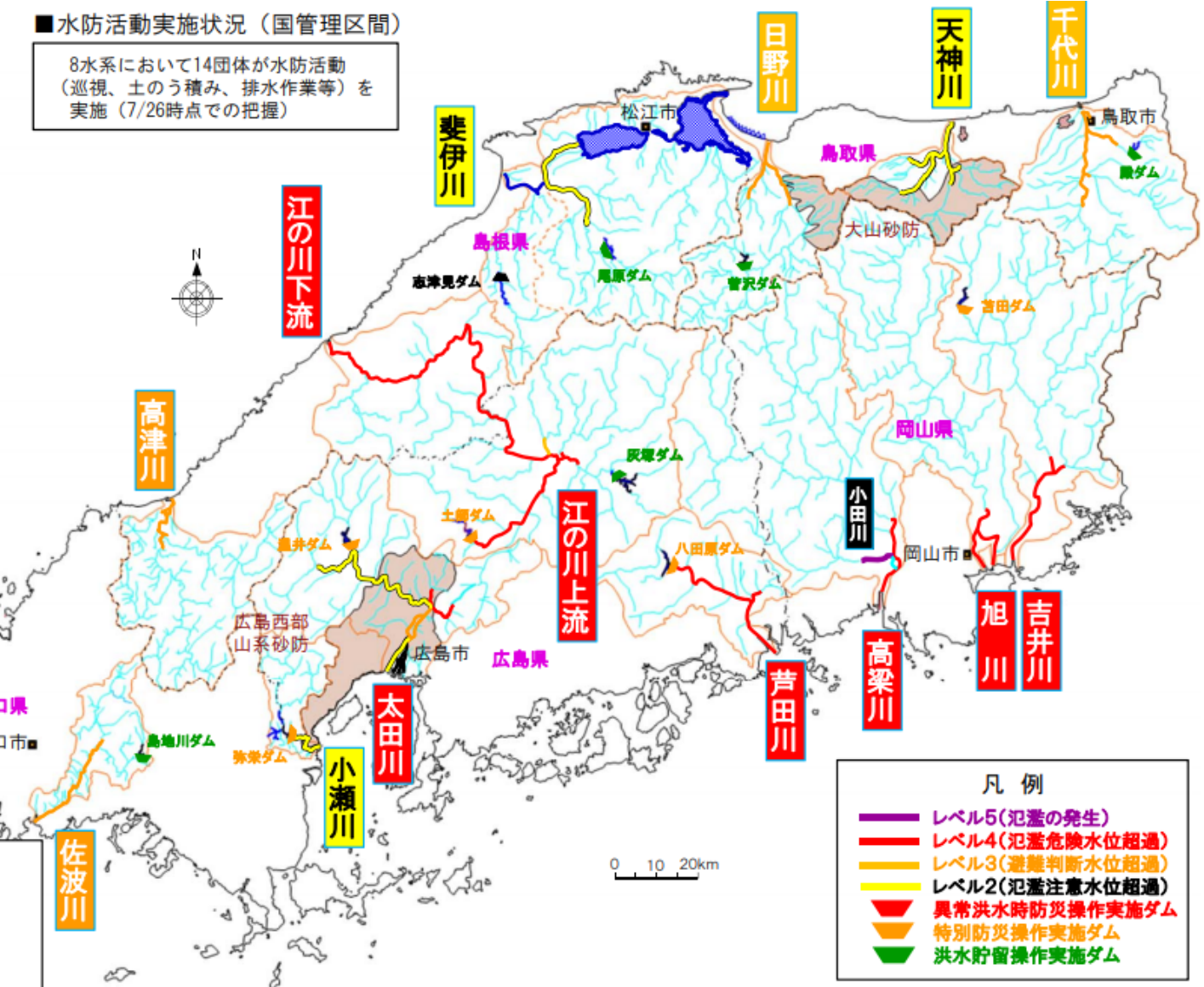
8水系において14団体が水防活動（巡視、土のう積み、排水作業等）を実施（7/26時点での把握）

- ※観測所でのレベル超過
- ### ■ 避難指示（緊急）が発令された主な市町村（国管理区間）
- 岡山県 岡山市、総社市、倉敷市、赤磐市 等
 - 広島県 府中市、福山市、安芸高田市、三次市 等

■ 主な一般被害（国管理区間）

★高梁川水系小田川沿川の被害状況（岡山県倉敷市真備町）
 浸水面積^{※1}：7/7AM 約1,200ha, 7/9AM 約500ha,
 7/11 宅地・生活道路については概ね解消
 浸水戸数^{※2}：約4,600棟
 避難者数^{※3}：3,675名（倉敷市全体）

※1：国土交通省中国地方整備局調査による推定
 ※2：おかも防災ポータルHP（7/11 8時現在）より浸水戸数の最大
 ※3：倉敷市HP（7/9 8時現在）より避難者数の最大



- ### 凡例
- レベル5(氾濫の発生)
 - レベル4(氾濫危険水位超過)
 - レベル3(避難判断水位超過)
 - レベル2(氾濫注意水位超過)
 - 異常洪水時防災操作実施ダム
 - 特別防災操作実施ダム
 - 洪水貯留操作実施ダム

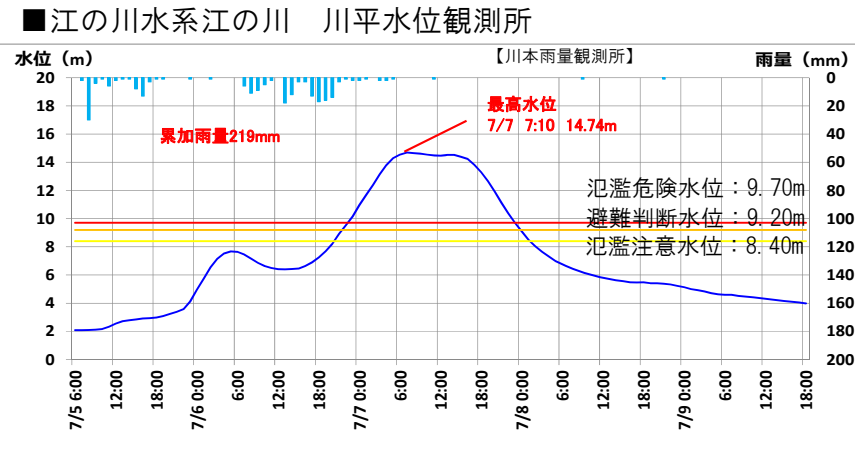
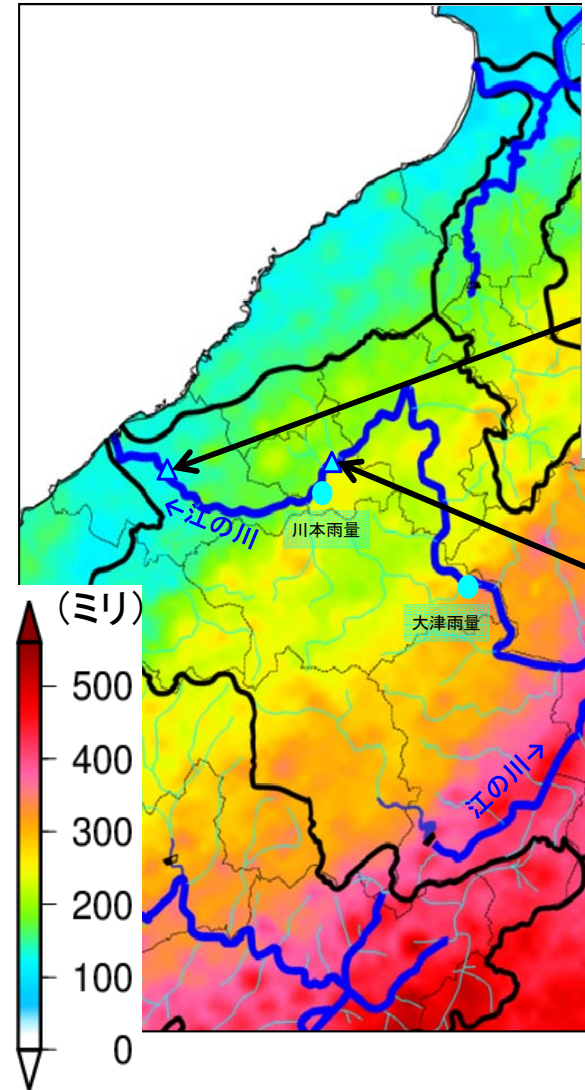
※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

江の川下流域の水位概況【平成30年7月豪雨】

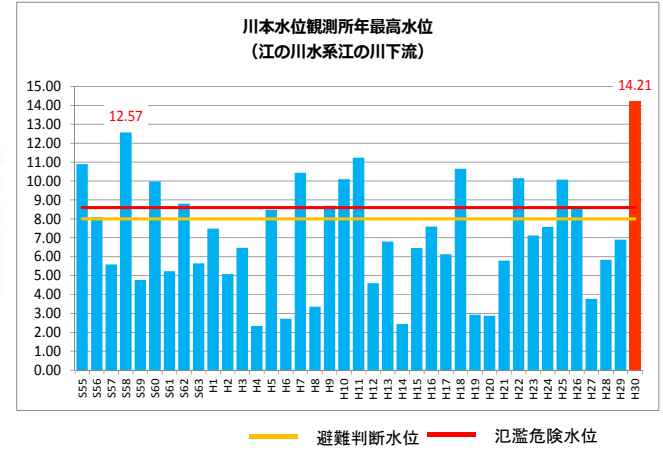
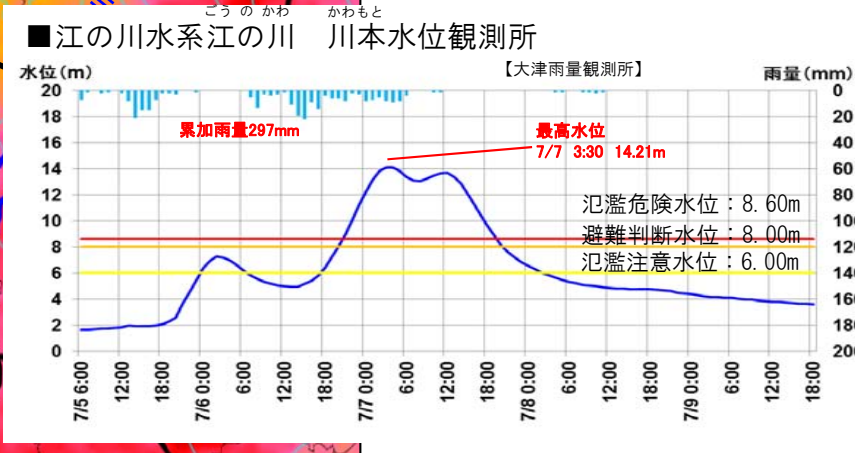
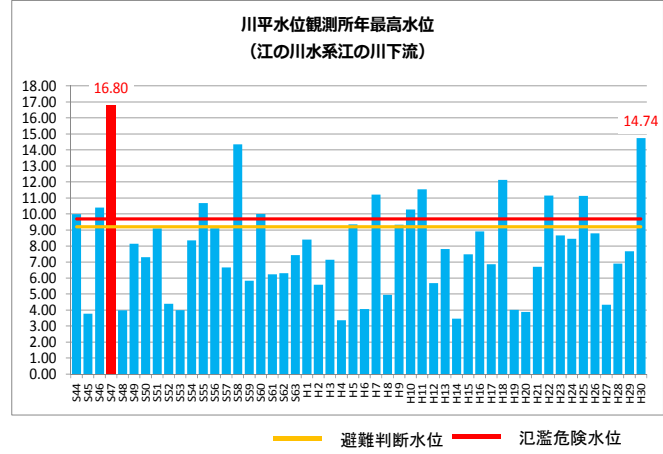
■7月5日(木)から7日(土)にかけて、梅雨前線が本州付近に停滞し、この前線へ向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活発な活動が続いたため、江の川流域でも断続的に非常に激しい雨が降り、多いところでは降り始めからの累加雨量※が400mmを超えました。

■この雨により、江の川水系江の川下流域の川平水位観測所、川本水位観測所等において氾濫危険水位を超過し、このうち川本水位観測所等の3観測所で観測史上最高水位を記録しました。

雨量分布図



※江の川流域の国土交通省及び気象庁の雨量観測地点のうち、西城雨量観測所など3地点で累加雨量400mmを超過。



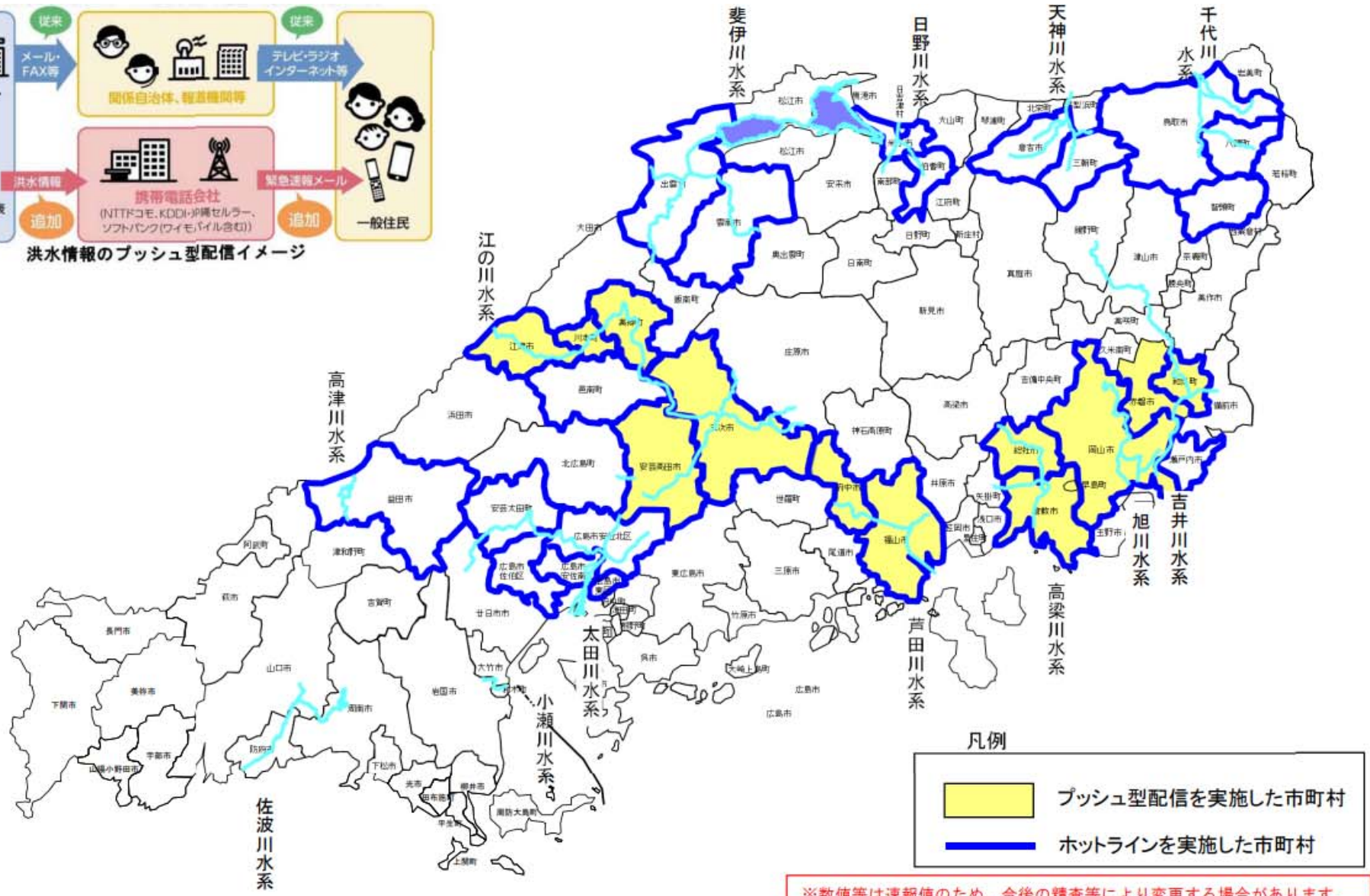
※雨量分布図は広島地方気象台提供 (7/5 0:00~7/9 9:00の降水量)

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

避難に係る情報提供(国管理河川)【平成30年7月豪雨】

■気象庁と協働で発表する洪水予報のほか、避難勧告発令等の支援のため、自治体に河川の状況や今後の見通しを伝える**ホットライン**を実施しました。

■9市4町の地域住民の皆様にも、延べ20回、**緊急速報メール**（プッシュ型配信）により洪水情報の伝達を実施しました。








※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

江の川下流部の被災状況【平成30年7月豪雨】

■江の川水系江の川下流部では、**溢水や内水による家屋等の浸水被害が多数発生したほか、根固めの流出等が発生しました。**
 ■また、江津市を流れる支川の八戸川(県管理区間)においても**越水による浸水被害が発生したほか、堤防の決壊等が発生しました。**

＜江の川下流部(国管理区間)の被災状況＞
 浸水面積:約340ha
 浸水戸数:約270戸
 根固め流出等 :6箇所

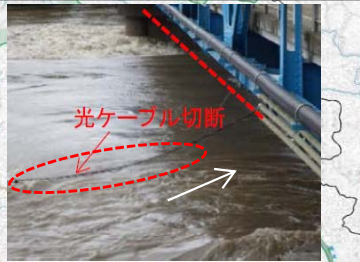
※数値は島根県側の計上
 ※浸水面積、戸数については堤防未整備箇所における調査結果
 ※内水被害については、一部確認できたものを図示

- 凡例
-  :越水・溢水
 -  :内水
 -  :堤防決壊
 -  :堤防欠損等
 -  :その他

【漏水】L=230m
 江の川 右岸15k200付近



【光ケーブル切断】L=1000m
 江の川 左右岸46k100付近



【根固め流出】L=50m
 江の川 左岸46k500付近



【溢水】
 江の川 左岸8k800付近



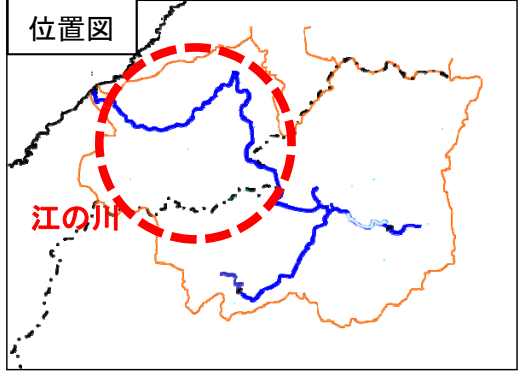
【堤防決壊】L=99m
 八戸川左岸1.3k付近(県管理区間)



【漏水】L=845m
 江の川 左岸28k00付近



【根固め流出】L=75m
 江の川 左岸69k200付近

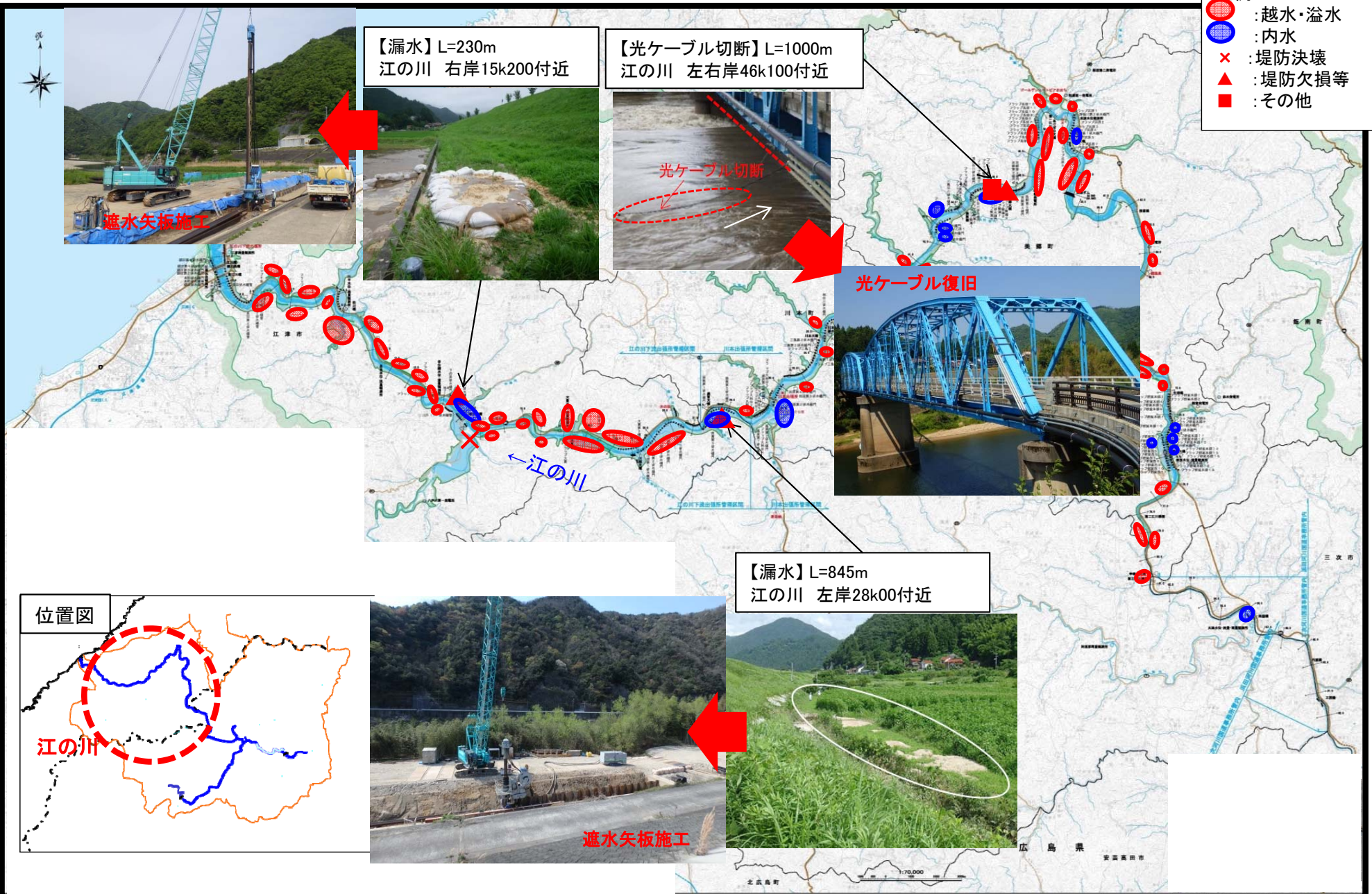


※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

江の川下流部の被災復旧状況【平成30年7月豪雨】

＜江の川下流部(国管理区間)の被災状況＞
 浸水面積：約340ha
 浸水戸数：約270戸
 根固め流出等：6箇所

- 凡例
- : 越水・溢水
 - : 内水
 - × : 堤防決壊
 - ▲ : 堤防欠損等
 - : その他



【漏水】L=230m
江の川 右岸15k200付近

【光ケーブル切断】L=1000m
江の川 左右岸46k100付近

【漏水】L=845m
江の川 左岸28k00付近

